



議会だより

けんぶち



保育所入所式での“真剣なまなざし”

第1回 臨時会・第1回 定例会	2
平成31年度予算決まる 予算特別委員長報告	3～4
予算特別委員会 質疑レポート	5～9
一般質問 4名が登壇	10～13
みんなの声がまちづくり	14

No.126

2019年5月発行
(令和元年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020 (直通)
<http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

2月

第1回臨時会

2/14

補正予算

● 一般会計に26万円を追加しました。

内容は町史編さん事業で、最終原稿やレイアウト等の作業精度を高めるためにパート職員の賃金を2カ月分補正するものです。

3月

第1回定例会

3/5~16

平成31年度の施政方針が町長から、教育長からは教育行政執行方針の表明がありました。

一般質問では4名が登壇したほか、町長から提出された議案（予算関連議案は予算特別委員会に付託）については、条例改正7件、条例廃止1件、31年度各会計予算を原案どおり可決しました。また、各会計補正予算も提案され原案どおり可決しました。

条例改正

● 町基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

中山間ふるさと水と土保基金に組み替える。また、住民生活に光を注ぐ交付基金は残額がないため項目を廃止するものです。

● 町有バス運送事業条例の一部改正

新入学児童の利便性を考慮し、スクールバスの3路線について運行を見直し、新規バス停設置や廃止バス停を定めるものです。また、市街地温泉連絡バス運賃を70歳以上の町内居住者は無料とすることにしました。

● 町税条例の一部改正

町税の項目に入湯税を追加します。内容は、レークサイド桜岡の宿泊者に対し、中学生以上一人につき一泊ごとに150円課税するものです。徴収は宿泊者に対するものであり、日帰り入浴者には課税しません。

予算

平成31年度会計予算は、8日～13日に開催された特別委員会で、慎重に審議を重ねた結果一般会計ほか6特別会計予算を全て可決しました。

主な質疑内容は、5～9ページに掲載しています。

賛成討論



卯城 規伊議員

平成31年度一般会計ほか6特別会計の可決成立にあたり、賛成の立場で討論をいたします。

剣淵町の基幹産業である農業は、かつてない市場開放が求められており、過去に経験した事のない領域に進もうとしています。今後、目指すべき農業経営の確立に向け、理事者におかれては先頭に立ちこの難局に立ち向うことを望みます。商工業の振興では、プ

レミアム付き商品券の発行は商店経営の活性化と町民の生活支援に繋がり、起業化支援と後継者支援は地方創生の柱となるものです。

福祉では、認知症初期集中支援チームは早期発見と早期対応のために極めて重要であり、家族の安心に繋がるものです。新たに産後ケア事業を進めることは産後の母親にとって不安解消に向け心強いものとなると思われ

ます。教育では、子どもたちのテレビゲームやスマホに接する時間の長さや家庭学習の時間の短さが課題となっており、効果的な取り組みとなることを望むものです。

公共事業では、東中央団地に1棟4戸の建設を行います。コミュニティに配慮した周辺環境も含め改善が期待できます。

平成31年度の予算総額は54億2520万円となり、地方交付税の減額が

見込まれる中、施設の長寿命化や省エネ対策に取り組むことは、町民の受益に繋がるものと考え、賛成討論とします。

補正予算

● 一般会計に3234万円を追加しました。

主な内容は、財政調整基金等に1億2543万円を積み立てすることによるものです。

● 国民健康保険事業特別会計から3363万円を減額しました。

● 町立診療所特別会計に160万円を追加しました。

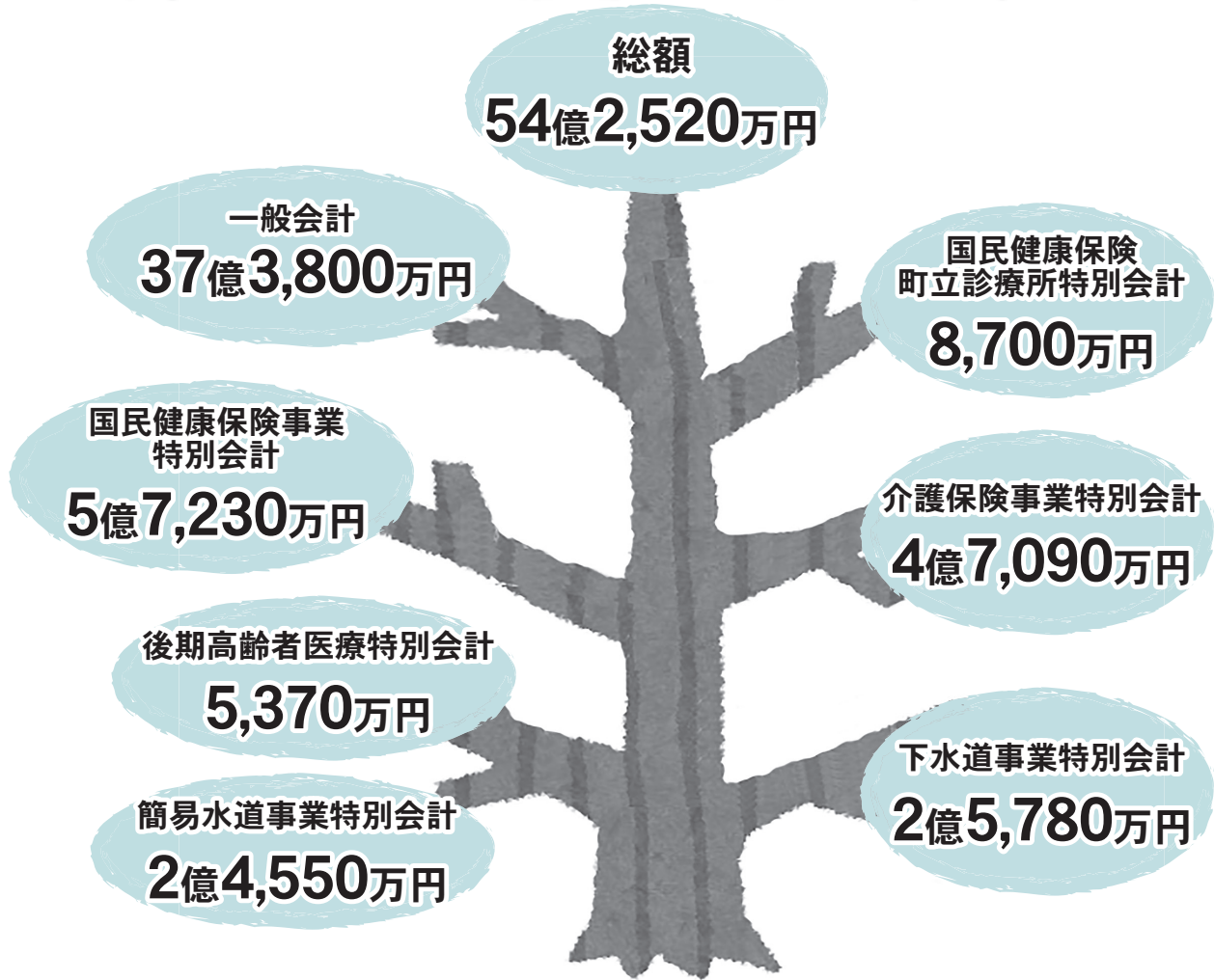
● 後期高齢者医療特別会計に425万円を追加しました。

● 介護保険事業特別会計から2396万円を減額しました。

● 簡易水道事業特別会計から1428万円を減額しました。

● 下水道事業特別会計から4209万円を減額しました。

平成31年度予算決まる



予算特別委員会委員長報告



限られた予算で
最大限の効果を

予算特別委員会 委員長 生出 孝男

予算特別委員会はそれぞれの予算及び関連議案3件を含め慎重に審議し、委員全員の賛成により原案通り可決すべきものと決定しました。

一般会計では前年度比1.7%増の37億3,800万円、6特別会計を合わせた予算総額は54億2,520万円で前年度比1.5%増となっています。歳入の半分以上を占める地方交付税は昨年に引き続き減額となり基金の取り崩しを行い歳入歳出の均衡をとった予算となりました。

近年、各種計画策定に関わる費用や、システム改修・保守等の経費が特に大きくなっている中で、経常収支比率がおよそ86～87%となることから予想され同規模の団体より上回っていることから更なる経費削減を図りながら効果的な予算執行が求められます。

主な事業で医療と福祉では、高齢者の名寄、旭川への遠距離通院に片道5,000円を上限に交通費の助成が拡大されることは、高齢者の負担減となります。福寿寮も浴室等一部改修を行うことでより快適に過ごせることを期待します。

妊産婦の産後ケアを充実させるため、助産師等による母親への心身ケア等や、診察時の交通費助成も新たに行われることで少子化対策に効果が出ることを期待します。また、仕事と育児を両立している家庭が増えている中、多様化する保育ニーズに柔軟に対応できる保育サービスの提供が求められます。

安全安心なまちづくりのために防災行政無線の更新に向けた実施設計が行われます。「じんじん号」は管理委託費を増額して利便性の向上が期待されます。

レークサイド桜岡温泉の利用促進のため町民還元券を増やすこととなりますが、赤字経営を社長が先頭に立ち会社一丸となって業務一つひとつの検証を重ね、改善策を打ち出すことが求められます。

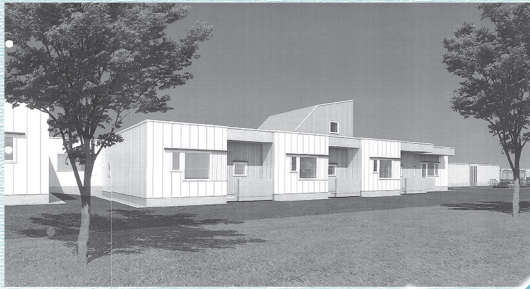
剣淵高校の生徒募集は定員の半数に満たない状況であり、道内はもとより道外への積極的なPRも行い生徒の確保に努める必要があります。

限られた予算の中で厳しいものではありませんが最大の効果を発揮し住民福祉の向上につながるよう期待します。

新規

東中央団地公営住宅建設工事

1億369万円



継続

町民保養サービス事業

1,125万円



町民1人当たり
還元券
6枚から10枚に

新規

全国絵本 ミュージアム 会議事業

補助金 100万円



新規

産後ケア事業

46万円

新規

キヌア栽培に係る 農薬登録試験業務

208万円



新規

公共施設二酸化炭素排出 抑制設備賃貸料

2,580万円

町内13施設で照明LED化やボイラー交換など



継続

総合計画推進事業

407万円

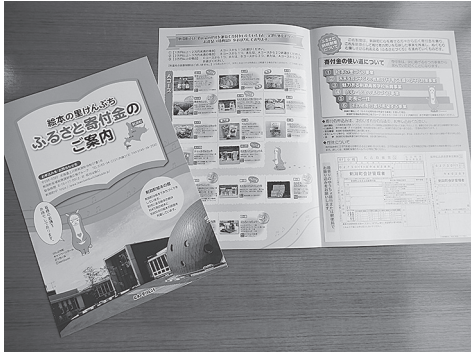


継続

町内老朽管布設替工事

1億3,170万円





ふるさと寄付金の案内

予算特別委員会 質疑

総務課関係

予算特別委員会は3月8日から13日まで開かれ慎重に審議しました。その中で質疑の一部を掲載します。

岡委員

ふるさと納税の返礼品について田植えや収穫などの体験は検討していたか。

上林総務課長

【大澤委員】
ふるさと納税700万円が計上されている。前年度から100万円増の見込みとなる。取り組みと今後の方向性は。

上林総務課長

アスパラガス、カラフルトマトを特典に期間限定で取り入れた。原則として3割以下の特典品かつ地場産品ということで制度改正が行なわれるが、新たな特典品もできるだけ発掘していきたい。

大澤委員

マイナンバーカードの普及率と今後の見通しは。

渡辺係長

2月28日現在マイナンバーカードの申請は361件、全体の約11%程度となっている。今後に向けカードの優位性と利便性をアピールして申請率を高めていきたい。

佐藤委員

防災会議で検討される内容。

上林総務課長

剣淵町の条例で設置しており、北海道の関係行政機関の代表者あるいは町地域住民団体の構成員が委員となっている。地域防災計画の見直しの際に防災会議に諮って行う。年に1回は防災会議を開催して防災計画を随時見直していく必要があると考えている。

大澤委員

情報ネットワークシステム管理事業について各所管課が違った中で、新元号改修、消費税増税にあたってのシステム改修など膨大にシステムの管理、補修、改修業務により行政の予算を圧迫しているが全体的に削減することはできないのか。

上林総務課長

システムがないと業務が遂行できない状況にある。システム改修等は国のほうから改修しなさいと言われるればそのまま改修せざるを得ない。システム開発は改修費用に上乗せとなること

から、かなりの額が毎年発生していることは否めない。

岡委員

バス待合所の利用者数と移設と撤去についてどのよう把握管理されているか。

上林総務課長

毎年新入学児童等について教育委員会から情報を得て、必要に応じて待合所を新設する或いは移設する、いらなくなった場合は撤去することもあり得る。

畠山(弘)委員

障がい者法定雇用率が今どうなっているか。

上林総務課長

29年6月1日現在、1名、30年はゼロと報告している。

住民課関係

高橋(毅)委員

入湯税について宿泊者名簿に年齢を記入してもらい入湯税を徴収するのか。

萩尾住民課長

レークサイド桜岡に帳簿記載をお願いし、毎月町に課税の人数を申告してもらうことになる。

高橋(毅)委員

剣淵町、下川町、音威子

府村で行っている戸籍システムに士別市と名寄市が加わると負担額はどのようになるか。

萩尾住民課長

これまで3町村で共同利用していた。士別市が庁舎外でサーバーを持ち、災害時に備えるデータセンターとして12月から稼働している。そちらに3町村と、名寄市が共同利用として参画をしていくことになる。負担額は戸籍の筆数において費用負担している。5年間利用するとなれば今の方式のほうが安い。長いスパンで7年、10年と使っていくとデータセンターの方が経費削減になる。

岡委員

子ども・子育て支援事業計画策定業務について、委員報酬等ということで14万8000円とあるが。

萩尾住民課長

各種委員10名程度の会議を年3回程度設けながら総括を含めてニーズ調査や意向など意見をいただきながら策定を1年間かけて進めたい。

【大澤委員】

子ども医療費助成事業について、前年の実績を元に算定をしたとのことだが、主にどういった内容か。

萩尾住民課長

今年が入院が多かった傾向にあり、子どもの数は減っているが小学生の入院が多かったことから増えている。

【酒井委員】

保育所管理運営事業の所長の具体的な業務は。

萩尾住民課長

保育所全体の方針の決定や統括業務が中心。その他支援が必要な子へのサポート等も行っている。

【岡委員】

士別市し尿処理施設整備事業負担金が10カ年計画の今年分で1645万円とのことだが、今後の見通しは。

萩尾住民課長

士別市からの提示では10年で剣淵町としては1億程度の負担となっている。幌加内町が加入することからその分抑えられると思われる。



し尿処理場

健康福祉課関係

【高橋(毅)委員】

成年後見支援センター事業について相談件数が今後増える見通しと思うが、相談件数がどれほどあったのか。町民にどう広めていくのか。

精進健康福祉課長

相談業務的には昨年1件のみで初めてのこと。今後高齢の方や知的・精神障がい者というところでは5、6人の方、将来的には何らかの形で支援は必要と考えている。道からの補助金も充当して、町では170万円の予算の中で相談もしながら啓発活動をしていく。

【富山(弘)委員】

相談支援事業を北斗会に委託とのことだが、相談件数は増えているのではないかと思うが、予算が減った理由は。

大澤主事

委託料については前年度の予算217万円で今年度170万円になっている。昨年は障がいの方が5、6名であったが、4月から全員グループホームに入居したことから在宅の相談が大幅に減り減額となった。

【高橋(一)委員】

配食サービス事業の対象者が6名、予算では各種事務委託受付精算等として30万円計上されており、新たに新規の希望があれば申し込みを受け付けるとの説明だったが。

精進健康福祉課長

新規受付についてはこれまでどおり町で行う。それ以外に、例えば通常新規受付以降の配食中止や再開については社会福祉協議会で行うこととなる。



配食サービスの食事

別に発送する予定。

【岡委員】

新しく産後ケア事業が始まるということで名寄市、士別市の助産師が訪問してくれるとのことだが、その目的と内容は。

松村主幹

目的としては退院直後の母子に対しての心身のケアや育児のサポートを行って、産後も安心して子育てができるよう支援をするもの。

1人当たり5回という基準を持って自己負担をいだけ。生活保護と非課税の方は無料、その他の方は1000円の自己負担で実施する。

【卯城委員】

認知症キャラバンメイト要請研修派遣費について。

尾門補佐

現在、包括の職員が認知症サポーター養成講座を実施できる講師資格を持っているので、グループホームの管理者にも資格を取っていただき、直接専門職の方の相談対応を想定している。

【高橋(毅)委員】

健康診査事業について、今までの項目に二つ検査科目を増やして検診をすることだが、受診率を高めるために特定検診について3年続けて実施すれば町内で使える商品券を考えることも目指す中で町民への周知の方法はどのように進めるのか。

松村主幹

年度当初に全体に対しての周知を行うとともに国保の方に対しては受診券を個

【岡委員】

「ささえ愛けんぶち」について町として社会福祉協議会と連携しながら、小さな声をどう拾い上げていくのか。

尾門補佐

小さいことができなくて剣淵町に住み続けられなくなる声を地域福祉計画のアンケートから拾い、有償ボランティアの仕組みを作ることを検討している。困っている方一人一人のお話を聞きながら声を拾っていくということに努めていきたい。

農業委員会関係

【高橋（一）委員】

昨年の1年間の所有権あるいは利用権の設定等々の実績が記載されている。農業委員会が各地区別に細かくその地区の平均額・最高額・最低額を出している。地区により必ず賃貸価格が違ふと思うが細かな情報を提供することが必要ではないか。

板東農業委員会事務局長
町内各地において土質、

また検査等についても違う。広報で周知できるように検討をしたい。

【卯城委員】

農地情報管理システム、地理情報システム、ほ場管理システムについてそれぞれの役割について。

板東農業委員会事務局長

航空写真で管理しているのが地理情報システム。農地情報管理システムは農家の個別情報、構成員、農地の所有状況、賃貸状況について把握しているシステム。農林課のほ場管理システムは農業経営安定対策に係る部分の作物を付けしている情報を把握するためのシステム。



地理情報システム・農家台帳システム

農林課関係

【高橋（毅）委員】

キヌアの農業登録試験業務で、キヌアの栽培のときに除草体系が非常に重要なので登録を申請するとのことだが、見通しはどうか。あわせて、製品化されたキヌアの生産量はどうか。

長谷川係長

キヌアの栽培試験は、町内農業者、拓殖大学、上川農業試験場の3ヶ所で行う。試験内容は薬効薬害試験と作物残留試験。キヌアの生産量は約2トンほど。

【高橋（一）委員】

産業経営者育成基金について30年度、産業者育成資金の貸付合計金額を伺いたい。

鈴木主査

現在131名に貸付を行なっており、資金総額は2億3000万円、未償還は9000万円、基金の残高は1億4000万円となっている。

町づくり観光課関係

【岡委員】

桜岡オートキャンプ場について観光客の少ない冬の活用はどうなっているか

穴戸町づくり観光課長

キャンプ場はほぼ安定した利用者がいる。キャンプ場のニーズに添えることができるか検討の余地はある。



桜岡オートキャンプ場

【畠山（弘）委員】

移住支援事業について内容は。

穴戸町づくり観光課長

東京圏からのU・J・ターン者の促進及び地方の担い手不足対策ということで取り組むもので、中小企業等に就業をした場合で単身は60万円、家庭を持つ方は最大100万円、起業した場

合で最大300万円助成される。

【高橋（毅）委員】

地域おこし協力隊事業について今年度6名の方が活動をされるが、具体的な活動は。

穴戸町づくり観光課長

現在残った4名と、2名募集をかけており最大6名となる。募集の2名は観光分野での活躍を考えている。剣淵の素晴らしさを知ってもらった上で、観光PRにつなげていく。地域おこし協力隊員に限定した補助制度の検討も必要になると考えている。

【卯城委員】

人材育成研修派遣事業補助金が40万円に上がった経緯は。

穴戸町づくり観光課長

町の直轄事業で研修を組み立てて研修に行く際の補助金は平成31年度の実施を見送った。町民の方が自主的に研修をしたい際の補助金として40万円を計上している。

【島山(弘)委員】

消費生活行政について。町民の詐欺の被害や商品購入に対してのトラブルはあるか。

西岡主幹

相談件数は町内で約10件程度、強制的な斡旋のクーリングオフが主な内容。

【卯城委員】

町民保養サービス事業は1125万円ということですが、前年より増えているが、利用率は上がっているのか。保養サービスを充実しても利用する人が減るようでは効果が期待できないのではないか。

西岡主幹

昨年度の利用率は、入館券79%、食事券75%。28年度は、入館券84%、食事券76%。経営の改善に資するために計上した。利用に向けて周知に努めて利用率を上げていきたい。

【酒井委員】

桜岡公園管理費のわかさぎのふ化に関して数が少ないと聞かすが稚魚が育っていないのでは。ふ化のやり方

について指導を受ける考えは。

西岡主幹

毎年わかさぎ釣りが始まる前に試験釣りをしているが数があまり釣れない状況。上川総合振興局の内水面の管轄と連携をとって現状の打開をしていきたい。



わかさぎ釣り

【佐藤委員】

道の駅管理費で中国・韓国、その他観光客の支払い・決済はキャッシュレス化が進んでいる。どう対応するのか。

穴戸まちづくり観光課長

現在道の駅はキャッシュレス対応とはなっていない。お客様からの要望が寄せられていないのが実態で、キャッシュレス対応となると

カード会社に対して決済金額の3%程度支払わなければならぬ。10月からの消費税増税にあたり政府ではキャッシュレス対応で決済したものにポイント還元を考えていることから、キャッシュレス対応を検討して導入していきたい。

【大澤委員】

POSレジシステム導入にあたってメリットの一つとして売上の一元管理や売上情報を逐一メールで配信できるなど商売意欲を高めることになった。しかし、商品が売れても補充されないなど活用しきれない現状があるが今後の方策は。

穴戸まちづくり観光課長

指摘のように活用しきれない。今年度から道の駅でも売れ筋のものがなくなる。メールだけでなく、電話を入れて補充する取り組みをした結果、売上を伸ばしている。POSレジの導入の効果を最大限活用して売上を伸ばし経費を効果的に軽減してもらおう指示を出していきたい。

建設課関係

【島山(弘)委員】

毎年町営住宅は料金が変わる。来年度の住宅料を決めるために、収入申告書などを提出するがその時期が年々遅くなっている。決定額の通知も遅くなっている理由は。

館野建設課長

本来10月くらいには収入申告の取りまとめを行うべきが、ここ2年ほど対応が遅れている。今年度以降については、本来10月を目標に収入申告を行って年内には新しい家賃を通知したい。

【酒井委員】

定住促進勤労者住宅は5年間の入居期限で、それ以降定住にながった人数は。館野建設課長

1人は仲町で住宅を建設し、ほかにも民間住宅に移った方が1人、中古住宅を買って改修して住んでいる。

【岡委員】

管内路面性状調査業務についてどういう道路を主体的に調査をしていくのか。

佐藤係長

町道には1級・2級・その他という種別があり、1級町道を主として老朽化の進んだところ、交通量の多い路線、重要な路線を選考して点検をしていきたい。



舗装補修前の写真

【高橋(一)委員】

橋の長寿命化の關係で昨年、一昨年の事業と合わせて設計業務だけで1000万円近いお金がかかる。今後町内の長寿命化に関する設計含めて工事をどれくらいやらなければならないのか。

佐藤係長

今後10年間で9橋の橋梁補修をやっていく。

教育委員会関係

【高橋（一）委員】

今年度、高等学校入学希望者が少なく厳しいが、今回の生徒募集に関してどのような働きかけをしながら生徒確保につなげたのか。次年度に向け生徒を増やす方策を考えているか。



高校生徒募集のポスター

道外にも募集対象を広げるようにカリキュラムの更なる特色付けを進めていければと考える。

【岡委員】

冬期間の遊び場がなかなかない現状において屋内ゲートボール場の活用は

半田教育長

子どもの体力づくり、軽スポーツ活動等々含めて、さらには少年団の様々な交流活動などに利用して頂ければと思う。冬期間実際に土で遊んだり体験できるような機能の場所になればいい。

【高橋（一）委員】

現在、小学校、中学校でスマホ携帯電話の所持率が增えていて、文科省ではスマホのGPS機能が安全確保あるいは災害時でも役に立つとのこと。このことから小・中学校ではどう対応を考えているのか。

金村教育課長

メリットはあるかと思うが、持っている子と持っていない子の中で友達間、仲間同士の亀裂といった問題が生じるのではないかと考えている。

小中学校、今の段階では学校に携帯電話を持ち込みとすることはまだ早いと考えており、学校での考えを確認しながら進めていきたい。

【岡委員】

文科省においては土曜授業を推進しているが、どのように考えているか。

金村教育課長

学校の授業日数が大変厳しくなっているが、先生の負担や体制に課題がありほとんど進んでいない。授業ではなく学習、活動の中でどのように取り入れていくかが課題と考えている。

【酒井委員】

児童学習生活支援職員の勤務時間が短縮された理由と弊害が出てこないのか。

金村教育課長

今回6時間30分という形にした。学校で時間が必要な時は30分単位の超勤対応を行う。

【畠山（弘）委員】

部活動の活動時間と教員の働き方改革の進め方について今の状況は。

半田教育長

週に必ず平日1回と土日に1回休みをいれ、活動時間は平日の放課後は2時間、土日は3〜4時間。先生方の部活動の関わる日数110日くらい休みを入れることを決めている。



部活動のようす

【畠山（真）委員】

高等学校生徒募集について旅費は4万3000円で足りているのか。

中上高等学校事務長

校長、教頭、教育長も含めて広範囲の中学校を訪問している。大体は日帰り対応で公用車で行っているという状況からこの額になった

ている。

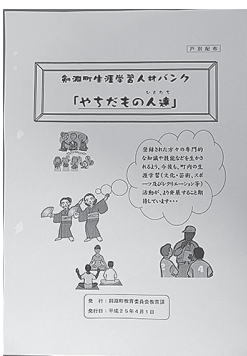
【高橋（一）委員】

生涯学習活動に関して町内では生涯学習として文化芸術スポーツ、レクリエーション等の活動が活発に行なわれているが、指導者がいないこともあり平成13年にやちだもの人達という人材バンクを設けた。平成25年以降登録者の見直しを行っているが、見直しの必要性は。

佐藤主幹

平成28年に見直す予定だったが人材バンクに登録されている方の活用が1件もないことから見直しはしていない。

地域学校協働本部の地域人材の活用については小・中学校に対し人材バンクの名簿等は提供している。



人材バンクの登録者名簿



岡 康照 議員

問 低年齢層の保育所入所希望者の増加への対応を

答 各家庭の状況に柔軟に対応できるように
パート職員を1名増員の予定

岡 康照 議員

幼児教育・保育を取り巻く環境が大きく変化する中で、3歳未満児の保育所利用や、特別な配慮を必要とする子どもが増えるなど、多様化・複雑化する保育ニーズに柔軟に対応できる保育サービスの提供が必要とされ、幼児期の質の高い教育も求められている。今後の幼児教育・保育についてどう考えているか。

早坂 町長

保育所運営指針は昨年改正され、乳児・1歳以上3歳未満児の保育サービスの明記、保育所保育における幼児教育の積極的な位置づけなどが示された。

当保育所でも、指針に基づき、保育計画を作成し、年齢ごとに保育目標を設定し保育している。

保育における幼児教育は従来同様、主体的な遊びを中心とした教育活動を意識し長時間生活にも配慮している。

最近では、低年齢の児童の入所利用が増加傾向にあることや、各家庭の形態の状況も様々で、子育て中の保護者に寄り添った支援を行うため、所内の自己評価を伴った研修活動を充実し進めている。

半田 教育長

教育振興基本計画において遊びを通じた豊かな学びの推進を掲げ、その第一が質の高い幼児教育と保育の提供である。幼児教育の振興にあたっては幼児を持つ家庭の教育力を高めることが重要であり、家庭への子育て情報や学習機会の提供、教育相談の実施などについて保育所と学校と連携を図っていききたい。

岡 議員

剣淵町においても保護者の就労などの要因で低年齢の保育所入所希望者が増え待機児童が発生している現実がある。今後も家庭の事情によって入所希望者の増加も予想されるがどう対応するのか。

早坂 町長

各家庭の状況に柔軟に対応できるように新年度はパート職員を1名増員する予定。

岡 議員

今後、親が就労している3歳未満児はしっかりと預かり、3歳以上児は質の高い幼児教育の観点からも親の就労に関わらず受け入れる体制が必要とされる為、認定子ども園への移行も検討していく必要

があるのではないか。

早坂 町長

認定子ども園については、以前に検討されたが、そこまではということでは現実に至っていない。しかしながら、認定子ども園にならないからといって教育に近い保育ができないわけではない。

環境に合わせた形で保護者の皆さんと保育所が実際にやりとりをしながら進んでいきたい。

岡 議員

不安感、負担感を抱えながら子育てをしている保護者に、母親に対してどうやって安心して子育てをしてもらえるか。剣淵町で子どもを育てたいという想いにどう応えていくのか。

早坂 町長

公営住宅などを整備し、いろいろな世代が住み、地域のコミュニティが発達する中で子育てしていく形が一番安心できる。

絵本の里づくりを進める上でも、保護者にしっかりと大丈夫、安心してくださいと伝えながら不安があるときには遠慮せず行政に相談してもらおうようにしたい。



高橋 毅 議員

問 子ども子育て環境を より良い方向に

答 就学援助を32年度実施を前倒し31年度に

高橋 毅 議員

全国的な少子高齢化は剣淵も例外ではない。昨年本州での議員研修で人口減少に歯止めをかけようと先進的取り組みをしている町を視察したが、どの町も就学援助・通学支援をはじめ子育て環境改善に力を入れていた。この地域でも義務教育の就学援助で入学準備金の前倒し支給が実施され剣淵でも予定されている。その内容についての説明を求めたい。また、いじめや不登校など学校間連携も含め子育て支援も住民の声を聞き柔軟な対応が必要となると思われる。剣淵独自の取り組みとして絵本の里大賞の作家が授賞式の翌日小学校全学年の児童に約1時間の特別授業をすることは全国でも我が町だけ。一緒に来ていた出版社、図書館関係者もこれは実に贅沢でこのことをもっとPRし、子ども留学や、移住定住につなげるべきと言っていた。私も同感。これらの事も含め子ども子育てについて教育長、町長の考えは。

半田 教育長

町では平成27年に、みんなで支える豊かな未来、子どもが健やか

に育つ町剣淵を基本理念とする、「子ども・子育て支援事業計画」を策定している。その中で、要保護・要保護児童生徒について生活保護を必要とする世帯、または生活保護に準じた保護が必要な世帯の児童生徒に対し、剣淵町要保護及び要保護児童生徒認定要綱に基づき就学援助を行う制度として実施しており、対象項目は学用品、部活動費、PTA会費、制服代、学校給食費などで概ね国の基準に準じている。32年度入学児童は3月に前倒し支給する予定。いじめ不登校対策はいじめの未然防止、早期発見、早期対応などに取組み、スクールカウンセラーによる教育相談も行っており、子どもが主体となるいじめ防止活動を推進する。

早坂 町長

小学校での特別授業は作家の想いを直接伝えてもらう剣淵ならではの取り組みで町内外に誇れるものと考えPRしていく。また、子ども子育てニーズ調査では77%が子育てしやすい町と答えており、より良い環境整備に力を入れていきたい。

じんじん号を利用者ニーズに改善する必要があるのでは

高橋 議員

じんじん号は高齢者の移動手段として定着し利用も増えている。利用者の声で予約方法や短時間での用を済ませた後の再利用や店舗前下車や待合所の確保など利用者ニーズに沿うよう改善を加える必要があるのでは。

早坂 町長

平成26年10月からの本格運行後も利用者が増え続け運行距離の増加に伴い、運行委託料も引き上げることとなり現在200円の利用料金の引き上げも検討せざるを得ない状況にある。高齢者の移動手段全般の見直しを一年かけて検討を進めたい。



じんじん号



佐藤勝彦 議員

問 当町の移住・定住における問題について

答 平成31年度において地方創生交付金事業の移住支援事業に取り組みたい

佐藤 勝彦 議員

当町においても急激な少子・高齢化により、自然減また若者の他市町への流出により、人口減少が顕著になってきた。移住・定住の課題に対し、政策を実施してきたが、実質人口の増加どころか、人口流出阻止には至っていない。将来に向け、移住・定住の問題をどのように対処するのか。

早坂 町長

剣淵町における人口対策については、平成27年10月に「絵本の里けんぶち まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定し、人口減少の抑制施策に取り組んできた。減少の流れが加速していく中で、総合戦略の策定と施策の実行により、その度合いを抑制しようとしている。平成31年度において地方創生交付金事業の移住支援事業に取り組みたい。

佐藤 議員

これまでも移住・定住については具体的な政策もない状況で、若者が結婚して、公住を申し込んでも収入要件で入居できずに隣のマンションに入っている。総合戦略基本方針の中にも結婚や移住を希望する人たちに支援するとしている。若者や子育て世代に対し何

とか対応できないか。

早坂 町長

町内には大通りに面した1戸建ての住宅が空いているが、そこには目がいかない状況となっている。今年度は1棟4戸の多世代向けのコミュニティを重視した住宅を建設し、移住・定住にもつないでいきたいらと考えている。

佐藤 議員

町の広報紙で町長は、町民の暮らしを支えるのは住み続けられる環境を整えることと答えている。ユニバーサルデザイン対応の公営住宅を7年間で33戸を建設するとしている。この中には子育て世代向けのタイプもあるが、所得の高い家庭でも入居は可能なのか。

館野 建設課長

公営住宅は国から45%の補助で建設しているため、公営住宅法なりの条件に合った方が入居できる。広い範囲で入居者を受け入れるとするなら、町単費での住宅の建設が必要となる。

佐藤 議員

人口減少を考えていくうえで一番問題なのが、現在町内に住む若者、子育て世代の流出で、財政上厳しくとも町有住宅はなくてはな

らないもの。できる限り町民の立場に立ち、剣淵町独自の政策があるべきと考える。町のホームページに「空き家情報」があるが、確認すると築40年以上で、住むにしても水回りはリフォームをしないと住めない状況と思われる。今後は町で一元管理をして、トイレ・キッチン・バスをリフォームし賃貸・売買する方がよいのでは。

早坂 町長

個人財産を買い集めて一元化し管理する部分は果たして可能なのか、今後の研究課題として考えた。またいろいろな情報があれば、しっかりと所管課と研究を重ね前向きに考えたい。



町のホームページの空き家情報から



酒井 修 議員

問 勤務時間内の救急車の配備について

答 研究課題として内部等で検討したい

早坂 町長
救急負担金は、1400万円の
剣淵町負担となっており、交通事
故を想定した場合は救助出動と救
急出動の同時出動が原則となり、



救 急 車

酒井 修 議員

剣淵町の救急対策は土別地方消
防事務組合消防署に、年間130
件程度の出動を依頼している状況
にあり、そのことにより土別市民
等からも不満の声も聞こえてくる。
自前の救急車を持っていない自治
体は道内でも数少ないと言われる
中で、剣淵町の財政状況を考える
と24時間体制は無理と考えるが、
少しでも町民の生命・安全・安心
を迅速に守るためにも、勤務時間
内だけでも救急車の配備ができな
いか。

早坂 町長

現在、剣淵支署に6名の職員が
在籍しているが、事故が起きた場
合の対応は土別の消防本部と連絡
をとりながらできないものか。
場所にもよるが、土別から20分
程度かかる。救急車が1分1秒を
争う急病人のために短時間で来る
ことは、町民の生命・安全・安心
を考えると大変重要なことだと考
えている。また、救急車の導入に
よって費用がかさむ話があったが、
救急車については、確率が高い宝
くじ号に手を挙げるべきと思うが、

町民の生命・安心を考えてとい

酒井 議員

救助出動は4〜5名の隊員が必要
で、救急車の出動は3〜4名の隊
員が必要となる。剣淵支署勤務者
が8名としても、24時間勤務の非
番者、年休取得者、出張者等があ
り勤務者は常時4〜5名と考えて
いる。
また、消防施設整備関係でも、
救急車を配備するためには多額の
費用が必要となる。
勤務時間内に救急車を配備する
ためには、剣淵支署勤務者につい
ても、最低でも11〜12名の人員が
必要である。
現状の形態が効率的だと判断し
ている。

早坂 町長

酒井議員の意向は十分わかりま
したので、研究課題として検討さ
せてもらいたい。
※酒井議員は他にも職員の配置問題に
ついて質問しました。

酒井 議員

急病人のために町内から短時間
で到着できることは、町民にとつ
て非常に重要なことだと思つ。内
部でも検討して、当然、剣淵町だ
けで決めることはできないが、土
別市とも話し合いを持ってもらい、
どのような体制がいいのか、時間
がかかることも止むを得ないと思
うので、十分検討していただきた
い。

みんなの声がまちづくり

① 剣淵町をどう思いますか？

子どもを持つ親としては通学路に不安がある。

西町

矢 萩 和 也 さん

② もし町長になったら何をしたいですか？

基盤がないまま新たに就農する人への支援を手厚くするなど、新規就農者が入り込みやすい仕組みづくりを行いたい。

- ・ 産業経営者育成資金を増額し、調達の手続きを簡素化する
- ・ 資金補助の条件を緩和する

桜岡公園は温泉、宿泊施設、パークゴルフ場、キャンプ場もあるので、子どもが遊べるアスレチック施設や大人も楽しめる施設を作り、多くの方々に楽しんでもらいたい。



① 剣淵町をどう思いますか？

町民の皆さんが優しく、家族のように接してくれる町、自然が豊かで素晴らしい景色がみられる町です。

剣淵中学校 生徒会長

にし お ゆう ご
西 尾 悠 吾 さん



② もし町長になったら何をしたいですか？

道内だけでなく道外や国外からも人々を呼び込むために、絵本の館にいろいろな言語の本を置いたり、外国の絵本作家の原画展を行う。レークサイド桜岡で、日本の和のおもてなしで日本の良さを知ってもらいたいです。

小中学校の校舎が統合された場合、児童生徒地域の人と一緒にあって給食を食べるなど、みんなで楽しめるイベントを開催したい。校舎を取り壊さずに作家や写真家のアトリエとして利用し若い人の才能を育成したいです。

インターネットを利用してまだ剣淵を知らない人に剣淵の魅力をPRし、剣淵に移住してもらえともっと町が賑やかになると思います。

議会傍聴においでください

6月18日(火)開会予定です



会議録の閲覧

町議会では、本会議の会議中の発言を記録した会議録を作成しています。会議録は、役場庁舎3階、議事事務局でご覧いただくことができます。

お願い

現在の広報委員会となり6号目の議会だよりの発行となりましたが、まだまだ皆様の満足できる内容ではないと考えています。町民の皆様の率直なご意見とご要望をお待ちしています。